

全保協ニュース

〔協議員情報〕

全 国 保 育 協 議 会

TEL. 03-3581-6503 FAX. 03-3581-6509

ホームページアドレス [<http://www.zenhokyo.gr.jp>]

—今号の目次—

- ◆ 保育所における災害発生時等における臨時休園の対応等に関する調査研究（周知）（厚生労働省） 1
- ◆ 「保育の現場・職業の魅力向上検討会（第3回）」において保育現場の魅力をアピール（全国保育協議会・全国保育士会） 2
- ◆ 布製マスクの配布について（厚生労働省等） 3
- ◆ 令和3年度「児童福祉週間」標語の募集について 3

◆保育所における災害発生時等における臨時休園の対応等に関する調査研究（周知）（厚生労働省）

令和2年7月17日、厚生労働省は令和元年度子ども・子育て支援推進調査研究事業「保育所等における災害発生時又は感染症流行時の対応等に関する調査研究事業」（株式会社キャンサーズキャン）を踏まえ、その調査研究をもとに、臨時休園に関する課題や考え方について整理し、別添の事務連絡を发出了しました。

市区町村が、災害における臨時休園の在り方、臨時休園を行う際の判断基準等について定めることとされ、自治体の事例が示されています。臨時休園の基準については、保育の実施主体である市町村と関係者間で共有する必要があります。会員の皆さまにおかれては、保育所・認定こども園等の対応についても再確認をお願いいたします。

詳細は、別添資料1をご参照ください。

◎災害発生前に市区町村において事前に決めておく事項

- 警戒レベルが発令された時の各レベル毎の対応
（例）どの警戒レベルの時に臨時休園の判断を行うのか。保育中に警戒レベルが発令された時の対応。
- ハザードマップに応じた各保育所毎の対応
（例）浸水地域にある保育所への対応。

□臨時休園等の判断に関する保育所・保護者への連絡方法・タイミング
(例) 当日の連絡経路等の整理が必要。

□代替保育が必要とされる家庭の把握と保育の代替措置の設定
(例) 職種や各家庭の状況にあわせて対象の家庭を把握する。

□上記事項に関して、入園説明会等を通じた保護者等への周知

※基準の策定や当日の対応について、平時から保育担当部局と防災担当部局が連携をとることが重要

◆「保育の現場・職業の魅力向上検討会（第3回）」において保育現場の魅力をアピール(全国保育協議会・全国保育士会)

令和2年7月10日、厚生労働省は「保育の現場・職業の魅力向上検討会（第3回）」を開催し、当日の議題の1つである「魅力ある職場づくりに関するヒアリング」に、本会 村松幹子 副会長（全国保育士会会長）と本会 北野久美 常任協議員（全国保育士会副会長）が出席しました。

ヒアリングは、保育三団体協議会（日本保育協会、全国私立保育園連盟、本会）から、「保育士がやりがいを持って長く働き続けられるような保育所の取り組み」等をテーマに行われました。

ヒアリングでは、まず村松副会長から、全国保育士会について説明するとともに、令和2年度の重点事業として「保育の魅力の発信」に取り組んでいることを説明しました。続いて、北野常任協議員より、「保育士のやりがいや魅力」について、北九州市保育士会が実施した記述回答式のアンケート調査結果をもとに報告しました。

アンケート調査の結果として、「保育士になって良かったこと」という質問に対し、「子どもの成長が感じられること」や「子どもたちと信頼関係が築けたと感じたこと」という「子どものことについての回答」が最も多かったことや、「保育士をめざす人たちに伝えたいこと」という質問に対しては、「人の一生の最も大切な時に関わり、子どもの成長を保護者とともに見守り、喜べる仕事。責任も重いが、その分喜びも多い仕事」や「笑ったり泣いたり、毎日心揺さぶられる出来事に出会わない日はない。こんなに楽しく、うれしく、悲しく、生きている実感にあふれた仕事はない」といった回答があったことについて報告しました。

それらの結果も受け、村松会長より、「保育士は日々子どもを通して感動の場面に出合っており、日常の保育のなかで感じる喜びを共感し、ともに語り合える仲間がいる」ことが必要であり、保育士にやりがいを感じてもらいながら働くことができるよう、「クラスの担任同士、園内の職員同士が今日の保育での感動や楽しさを何気なく語り合える職場環境づくり」に取り組んでいると報告しました。

あわせて、全国保育士会や都道府県・指定都市保育士会が取り組んでいる「保育の魅力の発信の取り組み」について報告し、最後に、厚生労働省等が保育の魅力を発信する際のアイデアとして、「国をあげたポジティブキャンペーンの展開」や「保育の日の創設」を提言しました。

また、当日は、保育三団体のほか、高田勇紀夫氏（EBEL 代表）、新保庄三氏（日本保育者支援協会代表理事）からもヒアリングが行われ、それぞれ「企業を定年退職後に保育士資格を取得し、保育士として働いている」立場から、「自治体からの依頼を受けて保育所支援をしている（保育者と保護者とのトラブル解決支援も含む）」立場から、保育の魅力向上について意見が述べられました。

ヒアリングを受けて、検討会構成員による意見交換が行われ、保育の現場・職業の魅力の向上に向け、『保育の日』を制定してはどうか、「保育の現場においても ICT 化による合理化を進めていくことが必要」、「保護者や市民が保育所をどう見ているかを検証する必要があるのではないか」、「保育士の趣味の時間＝自分の人間性を磨く時間をしっかりと持つような職場であることが必要」といった意見が出されました。

「保育の現場・職業の魅力向上検討会」は、この後、第 5 回まで検討会が行われ、9 月上旬～中旬に報告書が取りまとめられる予定となっています。検討会の資料は、下記ホームページをご確認ください。本会が提出した資料は「資料 5-3」として掲載されています。

■厚生労働省トップページ > 政策について > 審議会・研究会等 > 子ども家庭局が実施する 検討会等 > 保育の現場・職業の魅力向上検討会 > 保育の現場・職業の魅力向上検討会（第 3 回）資料
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_12322.html

◆布製マスクの配布について（厚生労働省等）

令和 2 年 7 月 28 日、厚生労働省等は介護施設や障害者施設、保育所等、放課後児童クラブなどへ再利用可能な布製マスクを配布する旨の事務連絡を発出しました。

すでに令和 2 年度補正予算等を活用して各施設に配布されているところですが、今回は「職員数×4」の枚数が配布されます。なお、布製マスクの配布は、今回で終了となります。

詳細は、別添資料 2 をご参照ください。

◆令和 3 年度「児童福祉週間」標語の募集について

厚生労働省、社会福祉法人全国社会福祉協議会、公益財団法人児童育成協会では、子どもの健やかな成長、子どもや家庭を取り巻く環境について国民全体で考えることを目的に、各種事業および行事を展開することにより、児童福祉の理念の一層の周知と子供を取り巻く諸問題に対する社会的関心の喚起をはかるため、毎年 5 月 5 日の「子どもの日」から 1 週間を児童福祉週間と定めています。

令和 3 年度「児童福祉週間」の標語を募集するにあたり、本会も標記週間の趣旨に賛同し、募集の周知をはかるものです。

なお、標語の応募は、公益財団法人児童育成協会「標語募集」係まで、お問い合わせください。よろしくお願いいたします。

【「児童福祉週間」標語の応募等に関するお問い合わせ先】

公益財団法人 児童育成協会「標語募集」係
 〒102-0081 東京都千代田区四番町 2-12 四番町 TH ビル 6 階
 TEL. 03-5357-1134 / FAX. 03-5357-1809
 E-mail hyogo30@kodomonono-shiro.jp
 URL <https://www.kodomonono-shiro.or.jp/jigyo/hyogo>

標語募集 令和3年度
児童福祉週間
 みんなの夢や希望を込めた**児童福祉週間**の標語を考えよう!
募集期間 令和2年9月1日(火) ▶ 10月20日(火)
 厚生労働省では、令和3年度の「児童福祉週間」の標語を募集します。最優秀作品に選ばれた標語は児童福祉週間のポスターやイベントで使われます。あなたからの応募をお待ちしています!!
 応募方法については新聞を見てください!
児童福祉週間とは
 “子どもたちがいきいきと、夢と希望をもって暮らすに育つためにはどうしたらいいのだろう”ということをみんなで考えたり、このような考えかたをたくさんの人に知ってもらおうための1週間です。
 国では毎年5月5日の「子どもの日」から1週間は「児童福祉週間」としています。
 令和2年度のポスター
 ～令和2年度「児童福祉週間」の最優秀作品になった標語～
やさしさに つつまれそだつ やさしいこころ
 (北澤佳奈さんの作品 和歌山県・13歳)
 主催：厚生労働省・社会福祉法人全国社会福祉協議会・公益財団法人児童育成協会

応募方法

した 下の4つの方法で応募できます。



インターネット

応募フォームに必要な事項を入力して、応募してください。
 アドレスはこちら→<https://www.kodomonono-shiro.or.jp/jigyo/hyogo>

メール

あなたが考えた標語と、名前、年齢、職業(学校、学年)、住所、電話番号をこちらのアドレスに送ってください→hyogo30@kodomonono-shiro.jp

ファックス

この用紙に必要な事項を記入して、ファックスで送ってください。

郵便

ハガキまたは封書に、あなたが考えた標語と、名前、年齢、職業(学校、学年)、住所、電話番号を記入して下の住所に送ってください。(10月20日消印有効)
 〒102-0081 東京都千代田区四番町 2-12 四番町THビル 6階
 公益財団法人 児童育成協会「標語募集」係